

2025年4月16日

2社の「SDGs宣言」策定を支援

～地元企業のサステナビリティ経営をサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先2社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのサステナビリティ経営をサポートする伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのサステナビリティ経営の取組み支援などに注力してまいります。

《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) 有限会社 ナカケン
- (2) 株式会社 越谷レイクタウン観光バス

以上

報道機関からのお問い合わせ先
法人コンサルティング部 コンサルティング営業室 崎谷 健史
TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	有限会社 ナカケン	株式会社 越谷レイクタウン観光バス
代 表 者	代表取締役 中庭 睦	代表取締役 生井 正夫
所 在 地	埼玉県秩父市下吉田 7784-4	埼玉県吉川市中央 3-30-23
業 種 お よ び 事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事業 ・とび・土工工事 ・舗装工事 ・水道施設工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般貸切旅客自動車運送事業 ・一般乗合旅客自動車運送事業
設 立	1997年11月27日	2021年10月1日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事を通じて持続可能性の高いまちづくりに貢献していく ・多様な人材が活躍でき、働きがいのある職場を目指す ・地域や環境にやさしい土木工事業を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸切バスという移動手段提供と地域貢献で『未来に繋がる社会』を実現していく ・貸切バス事業の持続可能性を高めていく ・地域や環境にやさしい経営を大切にする



有限会社ナカケン SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 中庭 睦

SDGsの達成に向けた取り組み

土木工事を通じて持続可能性の高いまちづくりに貢献していく

- 当社は秩父市を拠点として、1997年の創業以来約30年にわたり土木工事を行っており、埼玉県や県内自治体が発注する代表的なインフラ工事（現在は『大滝トンネル（※）』等を施工）を担い、地域の人々が『安心・安全』に暮らしていけるまちづくりに貢献してきました。
 - 今後も、地域の持続可能性向上に貢献していくため、創業以来努力を続けている『技術の研鑽』と『施工技術の承継』に励んでいきます。また、自治体や同業者等のパートナーを増やすことで、土木工事や地域貢献の担い手不足という課題解決を図って行きます。
 - 創業以来お世話になっている地域のため、地域行事への協賛（龍勢祭り、棕神社例祭、秩父夜祭、他）やボランティア活動への参加を継続していきます。
- （※）大滝トンネルとは、秩父市大滝地区の国道140号が、急斜面の山裾を切り開いた市内で唯一迂回路のない幹線道路であり、災害時などに寸断されると避難や物資の輸送に大きな支障となるため、このような現道約7kmの区間を約2kmのトンネルでショートカットする道路です。現在、2027年度の開通を目指して工事中です。



【指標】

協力している自治体や同業者等のパートナーの数 2025年 20先 ⇒ 2030年 30先 (+10先)
地域行事やボランティアへの参加数や協賛数 2025年 3件 ⇒ 2030年 7件 (+4件)

多様な人材が活躍でき、働きがいのある職場を目指す

- 当社は、『埼玉県多様な働き方実践企業』に認定されており、従業員の誰もが活躍でき、また、働きがいを持つことができる職場を目指すため、様々な取り組みを行っています。
- 具体的には、高齢者を積極的に雇用していく（現状定年無し）ほか、ワークライフバランスに関する休暇制度、ノー残業デーの完全実施、職場環境の改善、社内活動の充実化、他を順次行っています。
- また、人手不足対策や業務効率化のため、ICTに関する取り組み（ICT建設機械、3D測量、社内DX、他）を積極的に進めています。人材育成では、施工技術の承継や従業員の技術力向上のため、資格取得の支援（講習費、実費、他）を継続的に実施し、施工管理に関する国家資格取得者の増加に努めていきます。



【指標】

継続雇用した高齢者（65歳以上）の人数 2025年 3名 ⇒ 2030年 6名 (+3名)
ICTに関する取り組みの数 2025年 なし ⇒ 2030年 5件 (+5件)
国家資格取得者の割合 2025年 25% ⇒ 2030年 35% (+10%)

地域や環境にやさしい土木工事業を目指す

- 地域に根差す土木工事業者の責任として、環境に配慮した取り組み（重機の環境配慮型車両への入れ替え、LED照明化、太陽光パネル設置、他）により、会社全体でのCO2排出量の削減を行っていきます。
- 業務の電子化によりペーパーレス化を進めていくほか、PETリサイクルシートも活用していきます。
- 『国、埼玉県、秩父市、市内の小中学校』と災害協定を結んでおり、今後も降雪時に除雪を行う等、地域の安全を守っていきます。



【指標】

重機の環境配慮型車両の比率 2025年 16% ⇒ 2030年 33% (+17%)



株式会社 越谷レイクタウン観光バス SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 生井 正夫

SDGsの達成に向けた取り組み

貸切バスという移動手段提供と地域貢献で『未来に繋がる社会』を実現していく

○当社は吉川市を拠点とし、旅行、送迎、クラブ活動、イベント等の用途に対し、主に子どもたちやご高齢の方々に対し『お客様の移動をより安全で快適なものにする』ことを使命に、貸切バス事業を行っています。

○今後も、安全・安心を第一に考え、誠実なサービスでお客様の満足度を高め、貸切りバスという移動手段を通じて『未来に繋がる社会』を目指していきます。

○そのため、有事の際（事故、災害、急病人発生、他）の対応マニュアル充実化と対応訓練の実施、社員の救命講習受講率の向上を行っていきます。

○また、地域の子どもたちを対象とした『職場見学やバス体験イベント』を実施していくほか、様々な地域貢献活動へ積極的に取り組んでいきます。

【指標】

有事の際のマニュアル作成数/従業員の救命講習受講率 ⇒ 2030年 7件/100%

職場見学、バス体験イベント等の実施回数 ⇒ 2030年 2回/年

地域の活動、地域貢献への取り組み数 2025年 3種類 ⇒ 2030年 10種類(+7種類)



貸切バス事業の持続可能性を高めしていく

○当社事業の継続には、従業員の健康が第一であることから、従業員の健康を配慮した制度や仕組み（健康診断項目追加、感染症予防、ストレスチェック、新たな休暇制度、福利厚生 の充実、他）を導入していきます。

○多様な働き方に関する制度も更に充実させていき、ドライバーを含む女性従業員数を増加させていくほか、女性管理職の育成にも力を入れていきます。

○安全、安心へのこだわりとして、運転技能研修（教習所、雪山、他）の実施回数を増やしていくことに加え、様々な支援策を行うことで、ドライバーを含めた『運行管理責任者』の資格保有者を増加させていきます。

○社内コミュニケーション活発化のために、社内イベントを定期的で開催していきます。

【指標】

従業員の健康を配慮した制度の導入数 ⇒ 2030年 6件

女性従業員の数と女性管理職の数 2025年 6名/1名 ⇒ 2030年 10名(+4名)/4名(+3名)

コミュニケーションを活性化する社内イベントの数 ⇒ 2030年 1回/年

運転技能研修実施回数 2025年 1回/年 ⇒ 2030年 3回/年(+2回/年)

運行管理者資格の保有者数 2025年 5名 ⇒ 2030年 11名(+6名)



地域や環境にやさしい経営を大切にする

○会社全体としてCO2排出量の削減（環境配慮型車両（バス）への入れ替え、省エネ運転、事務所の省エネ、他）に取り組んでいきます。

○業務の効率化や電子化を進め、更に一段とペーパーレス化を進めていきます。

【指標】

環境配慮型車両（バス）の比率 2025年 15% ⇒ 2030年 92%(+77%)

